

今年度も状況を見極めながら少しずつ地域事業を行っています。参加人数や会場内のソーシャルディスタンス、換気等を工夫しながら開催し、来年につなげていきたいと思ひます。

### 日々の暮らしにSDGs



開催日： 令和3年6月11日(金)  
会場： 漱石山房記念館 講座室  
テーマ： SDGsって？SDGsカードゲーム  
講師： 新宿区立環境学習情報センター  
参加者： 26名

### 災害に備えるみんなの集い



開催日： 令和3年9月8日(水)  
会場： 漱石山房記念館 講座室  
テーマ： 首都直下地震に備えて  
大規模水害に備えて  
講師： 新宿区危機管理課  
参加者： 31名

## Q コロナ禍で取り組む新事業。反応は？



司会 久保 博義 会長  
(柳町町会会長)

司会役に決まり、SDGsについて調べました。持続可能な社会をめざす17の目標は色で示されていてよかったのですが、横文字が多く、ぱっとわかる言葉が必要では?と感じました。

当日は、講師から、動物や魚、海、大気等の環境悪化の写真やデータが示されて、地球の現状を知り、SDGsがぐっと身近に感じられました。参加者からの熱心な質問も多く、皆さんの関心の高さにも驚きました。

「SDGsカードゲーム」は、人々の活動が社会にどう影響するかを知る模擬体験ゲームです。ちょっと難しそうに思いましたが、初めこそ戸惑いがあったものの、各グループで活発な行動が見られました。

日々のSDGs活動は、現在、事務局で、参加者から「夏の省エネ」シートを収集中で、中間報告が待たれます。私は、次の「3Rの推進」シートを、町会員に説明しながら配布しているところです。町連事業のおかげで、SDGsに関する私の理解も行動も変わりました。

## Q 今年で4回目の開催です。感想は？

司会 阿部 正幸 会長  
(赤城下町町会会長)



今年度は、テーマを「来るべき首都直下地震に備えて」、「大規模水害に備えて」とし、新宿区危機管理課の方から講話をいただきました。

講師から北海道胆振東部地震の教訓や南関東で発生するM7程度の地震は30年以内の発生確率70%であり、新宿区内の8割が震度6強の揺れになるという説明がありました。また、コロナ禍における避難所での感染対策ポイントとして、手指の消毒、マスクの着用、社会的距離の確保の必要性の説明がありました。

大規模水害に備えてでは、台風15号・19号での新宿区内の被害状況の説明、洪水ハザードマップを参考にした水害対策と自助の備えや避難時の心得などの説明がありました。災害に強い榎町地区をつくるには普段から様々なシミュレーション(模擬訓練)を行うことの大切さと、私たち自身はどのような行動変容が重要なのか等々、防災の心構えと基本的なアドバイスをいただきましたので、日頃の防災対策に活かしてまいりたいと思ひました。